

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第24回 みんなと昆虫採集

2014年7月末、尾道市民センター「ココロ」と向島子ども図書館「わくわく」の主催でおこなわれた『昆虫採集と標本作り』の作品と、虫好き子ども達があちこちで採集した昆虫の展示です。

向島洋らんセンターに集合して、夏の暑い時だったから保健士さんの注意事項を聞いて近くの野に出発!!洋らんセンターの駐車場から降りて行く間にも、サクラやヤマモモの木にたくさんのセミやカミキリ、カナブン、ハ干などがあり、にぎやかに始まった虫とり! 事前の説明で「無用な虫の採りすぎはしない」事や「アミに入った虫を取り出す時にていねいにやさしくあつかってください」とお願いしていたので、みんな本当に虫を大切にしてくれていました。

虫カゴが早くもにぎやかになった友達や、「まだぜんぜん探せーん」とテンションの下がる友達やいろいろ…採集後は、標本にする虫や飼育したい虫以外はその場で放してあげましたね。

この採集会も今年で6回目くらいになったでしょうか。

毎回同じ時期に採集しているので、だいたい同じ虫の顔ぶれなんですけど、『向島で普通に採れる虫が普通に暮らせる自然』がいつまでも残っている事が一番大事じゃし、虫好き仲間が虫を追いかけられる野山がいつまでもある事も大事と思います。

今回の標本には、採集会とは別に虫おじちゃんがあちこちで見つけた虫もいますよ。

広島県北部の「オオヒカゲ干ヨウ」、生息地が少ない「ギフ干ヨウ」、ちっちゃい「ハツ干ヨウトンボ」、早朝の高速道路サービスエリアで見つけた「ミヤマカマキリ」、ゴルフ場の灯りに飛んできた「キイロスズメ」、クヌギの木にいっぱい集まっていた「ハナムグリ」、トラの模様をした「トラフカミキリ」、早春の夜に洋らんセンターをとびまわる「イボタガ」など… 「ハネビロエゾトンボ」「ネキトンボ」は向島初記録です!!! 「オオキンカマムシ」もめずらしーい!

花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ
つるかめクラブ